

総理大臣杯争奪「第47回西日本実業柔道団体対抗大会」 対戦記録と戦評

女子の部

昨年からミキハウス、本大会からダイコロと、「女子の部」創設以来の優勝と準優勝を独占した2チームがいずれも欠場し、更に昨年優勝のワイエスフードも欠場するという一抹の寂しさを覚えるものとなった。しかし、いずれのチームが優勝しても初優勝であり、各チームは初の栄冠を目指して熱い戦いを繰り広げた。結果は、新人石森の大車輪の活躍で、近大クラブがクラブチームとしては初となる優勝の荣誉に輝いた。来年は、実業チームの奮起が待たれるところである。

[第1回戦]

錦秀会阪和病院 3 - 0 関西医療学園

(先鋒)小谷 論香 3段	⊖ 優勢勝	名倉 宏子 2段
(中堅)中田 裕子 2段	○ 横四方固	榎本 麻衣 初段
(大将)神野 恵 2段	⊖ 優勢勝	條谷 渚 初段

関西健康科学専門学校 0 - 3 日本I-スポーツ

(先鋒)森 舞希 2段	大外刈	平岡 由紀 2段
(中堅)糸田 麻未 2段	崩袈裟固	猪ノ子石 瞳 初段
(大将)岡本 麻里 2段	払腰	中井 由佳 3段

仁康会小泉病院 不戦勝 龍谷クラブ

[第 2 回戦]

大阪鳳林医療学院 1 - 2 近大クラブ

(先鋒) 井上 美果子 2 段	送襟絞	松浦 早江子 3 段
(中堅) 小松 瞳 2 段	一本背負	石森 敦子 2 段
(大将) 上原 郁美 2 段	優勢勝 ⊖	木村 祐衣 2 段

錦秀会阪和病院 1 - ひらた整骨院クラブ

(先鋒) 小谷 論香 3 段	上四方固	野村 康代 2 段
(中堅) 中田 裕子 2 段 ⊖	優勢勝	水野 裕子 2 段
(大将) 神野 恵 2 段	引分	米山 正子 3 段

十全会回生病院 3 - 0 日本I-ｽﾀｰﾄ

(先鋒) 増田 淳子 2 段	上四方固	平岡 由紀 2 段
(中堅) 吉村 美恵子 2 段	上四方固	猪ノ子石 瞳 初段
(大将) 萩原 美和子 2 段 ⊖	優勢勝	中井 由佳 3 段

龍谷クラブ 0 - 1 立命館柔道クラブ

(先鋒) 木下 直子 2 段	引分	奥田 朋子 3 段
(中堅) 勝本 早季 2 段	引分	藤原 忍 3 段
(大将) 高木 真寿美 3 段	優勢勝 ⊖	白井 愛 3 段

[準決勝戦第 1 試合]

近大クラブ 2 - 1 ひらた整骨院クラブ

(先鋒) 天野 久光子 初段	腕挫十字固	野村 康代 2 段
(中堅) 石森 敦子 2 段	横四方固	水野 裕子 2 段
(大将) 木村 祐衣 2 段	小外掛	米山 正子 3 段

[準決勝戦第 2 試合]

十全会回生病院 2 - 1 立命館柔道クラブ

(先鋒) 増田 淳子 2 段 負傷勝 奥田 朋子 3 段
(中堅) 吉村 美恵子 2 段 小外掛 藤原 忍 3 段
(大将) 萩原 美和子 2 段 ⊖ 優勢勝 白井 愛 3 段

「決勝戦」

接戦を制して勝進んだ近大クラブと、これも準決勝戦で強豪立命館柔道クラブを熱戦の末、退けて勝上った十全会回生病院との決勝戦。いずれが勝っても初優勝。

近大クラブ 3 - 0 十全会回生病院

(先鋒) 天野 久光子 初段 不戦勝 増田 淳子 2 段
(中堅) 石森 敦子 2 段 横四方固 吉村 美恵子 2 段
(大将) 木村 祐衣 2 段 ⊖ 優勢勝 萩原 美和子 2 段

先鋒戦。十全会回生病院・増田の棄権で近大クラブは劣せず 3 人制では貴重な先取点を挙げる。

中堅戦。近大クラブ・石森は 2 7 秒に大内刈で効果を奪った後も、右組みからの低い背負投で十全会回生病院・吉村を攻める。1 分 1 3 秒には左の片襟背負投で有効を奪い、そのまま横四方固で押さえ、勝負を決す。近大クラブはクラブチームとして大会初となる「女子の部」優勝を決めた。

大将戦。近大クラブ・木村は 2 4 秒場外際、十全会回生病院・萩原の中途半端な内股を小外掛で切り返すと、これが技ありとなり木村が先制する。その後も木村は 1 分 5 3 秒、抱き込み大内刈で有効、続く 2 分 2 2 秒、小外掛で有効とポイントを連取。木村は最後まで萩原を圧倒し続けブザー。

近大クラブ中堅で出場した新人石森敦子は、立って背負投、一本背負、寝ては磐石の固め技と、遺憾なくその実力を発揮して縦横無尽の活躍。岡林賞と新人賞の松本賞をダブル受賞した。